

平成 2 9 年 度  
教育委員会の事務に関する点検・評価報告書  
(平成 2 8 年 度 対 象)

真の学ぶ力を身につけた 未来を拓く人づくり

平成 2 9 年 1 1 月  
寄居町教育委員会

## 目 次

I 趣旨 .....	2
II 点検評価の基本方針 .....	2
III 点検評価の結果 .....	3
「第5次寄居町総合振興計画基本構想」における施策	
・ 「選ばれる寄居」のまちづくり [寄居ブランド]	
・ 自然と共生するまちづくり [自然と人との調和]	
・ 歴史に親しみ、文化を育むまちづくり [歴史・文化]	
・ 子育てが楽しいと実感できるまちづくり [子育て]	
・ 子どもたちの自信と生きる力を育むまちづくり [学校教育]	
・ 生き生きと学び、活動できるまちづくり [生涯学習]	
・ 多彩な地域活動が育ち、人々が交流するまちづくり [地域の力]	
IV 結びに .....	3 2

## I 趣 旨

「地方教育行政の組織及び運営に関する法律」第26条により、すべての教育委員会は、毎年、その権限に属する事務の管理及び執行の状況について点検及び評価を行い、その結果に関する報告書を作成し、議会に提出するとともに、公表することが義務付けられています。

寄居町教育委員会では、同法に基づき、効果的な教育行政の推進に資するとともに、町民への説明責任を果たすため、「教育委員会の事務に関する点検評価」（以下「点検評価」という。）を実施し報告書にまとめました。

## II 点検・評価の基本方針

「第5次寄居町総合振興計画基本構想」が、2007年度から2016年度（平成19年度から平成28年度）を計画期間として、これからの地域社会や行政サービスのあり方を示し、町民と町がともに目指すまちづくりの目標を掲げ、ともに取り組むことのできる総合振興計画として策定されています。寄居町教育行政の主要施策もこの中に掲げられています。これをもとに教育委員会では、「真の学ぶ力を身につけた 未来を拓く人づくり」を基本的な理念として、次の5つの教育行政重点施策に取り組みました。

1. 確かな学力の育成とグローバル化に対応できる英語教育の推進
2. 豊かな心と健やかな体の育成
3. 教職員の資質向上と教育環境の充実
4. 家庭・地域と連携し絆を深める教育活動の推進
5. 生涯を通じた多様な学習活動とスポーツの推進

点検評価は、「第5次総合振興計画基本構想・後期基本計画」に掲げられた施策のうち教育委員会で取り組んだ事業に上記5項目を当てはめて実施いたしました。

なお、この点検評価に当たっては、学識経験を有する方から意見提言をいただきました。

## Ⅲ 点検・評価の結果

### 「選ばれる寄居」のまちづくり

#### 施策1 寄居おもてなしプロデュース

##### ○ 寄居町教育行政重点施策における位置付け

##### 「5. 生涯を通じた多様な学習活動とスポーツの推進」

#### 施策1-1 おもてなしの人材育成

- ・ 鉢形城跡のおもてなしの人材として、ボランティア案内人を募集しています。平成29年3月31日現在19人の方に登録していただき、平成28年度は、町内外からの90件の依頼に基づき、延べ152人の案内人が1,581人の方々に鉢形城公園及び鉢形城歴史館の案内活動を実施しました。これにより、訪れた方々に鉢形城跡を理解していただく一助となり好評を博していました。

#### 施策1-2 おもてなしの舞台づくり

- ・ 鉢形城公園利用者の危険防止のため、日常の安全確認を実施するとともに、仮設園路の設置及び転落防止柵の修繕工事を行いました。
- ・ 公益社団法人寄居町シルバー人材センターに委託して、公園の除草及び樹木の伐採管理作業を行い、散策する来訪者へ快適な見学環境を提供するよう努めました。
- ・ 鉢形城跡保存整備事業推進のため、発掘調査計画を検討しました。
- ・ 周知及び集客の方策として、春の若葉の会や夏の体験教室、秋のお月見の会等の催しを行うとともに、「鉢形城の桜 エドヒガン」の開花に合わせ、夜間のライトアップを行いました。
- ・ 春の寄居北條まつりや夏の水天宮祭花火大会での駐車場利用等にも活用しました。

これらのことにより、町内のみならず町外の方々にも、国指定史跡鉢形城跡を知っていただくとともに、さらに大勢の来訪者を迎えられるよう努めました。

## 施策の評価

日本は成長戦略として観光立国をめざしていますが、観光を通してその地域の魅力をより発信していけることは事実です。寄居町には、日本百名城の一つである鉢形城があります。期待を持って鉢形城跡に来訪される方のために、案内人としての人材を研修によって育てる取組はとても大事だと感じます。幸い、案内人の依頼も増加し、鉢形城公園を利用した各種催しの参加者も増えているようです。

来訪者への施設内の安全を確認しながら、危険防止の対策を講じていることもとても良いと思いました。

さらに、観光を担当する課との連携を深め、寄居町の魅力を発信し、来訪者の増加を目指して頂きたいと思います。

## 施策2 寄居うん蓄バンクの構築

### ○ 寄居町教育行政重点施策における位置付け

#### 「5. 生涯を通じた多様な学習活動とスポーツの推進」

### 施策2-1 寄居うん蓄の発掘・ストック

- ・ 優れた知識・技能・経験・文化的素養等を文化振興のため他者に伝える意欲のある方を広報で募集し、寄居生活学の達人の発掘・登録に努めました。平成28年度は達人登録更新の意思確認を行い、40人の方に更新いただきました。

### 施策2-2 寄居うん蓄の発信と活用

- ・ 「寄居生活学の達人」や職員を講師とした「まちづくり出前講座」では、31講座929人の受講者に対し、様々な情報を提供することで、町の魅力を発信することができました。
- ・ 8回目となる「寄居子ども博士検定」では、新たに2人の博士が誕生し、平均点も27年度を上回った一方で、参加者の減少傾向が続いているため、実施方法等を研究していきます。

## 施策の評価

生涯学習を進める上で、人材の発掘及びその活用が欠かせません。発掘し登録された「寄居生活学の達人」及び町職員を講師とした「まちづくり出前講座」は講座数も利用者数も増えており、努力されている様子がわかります。寄居町には、まだ隠れた人材もいると思いますので、より一層の発掘とその活用をお願いします。

「寄居子ども博士検定」では、検定のための学習が、寄居町の再認識につながります。ここで博士が誕生しているということはすばらしいことです。高得点の児童を認定することも重要ですが、誕生した博士は、寄居町のことや魅力がわかっている児童であり、この博士や高得点を獲得した児童を生かす工夫をしていくことが、検定参加者の増加にもつながっていくのではないかと思います。工夫をすることで今後の継続をお願いします。

## 自然と共生するまちづくり

### 施策1 自然環境の保全

#### ○ 寄居町教育行政重点施策における位置付け

##### 「5. 生涯を通じた多様な学習活動とスポーツの推進」

#### 施策1-1 自然を守り、育む活動の推進

- ・ 町内には、埼玉県指定天然記念物である「ミミカキグサとモウセンゴケの自生地」があり、希少植物であるミミカキグサとモウセンゴケについて、自生面積の拡大と株数の増加を目的として、以前から継続的に保護増殖活動に取り組んでいます。

28年度は、第5期保護増殖事業の5年度目となり、生育に適した湿地環境の復元を目的に、自生種以外の植物の繁茂を抑制するため、高茎湿性植物や陸生植物の除去作業等の環境整備作業を行うとともに、東西水路の浚渫しゅんせつや水路の一部補修を実施しました。

過年の樹木伐採で、日照時間を確保できたことから、モウセンゴケの確認株数が64株まで増加しました。また、イノシシ対策として電気柵を設置しました。

なお、第5期事業の最終年度にあたることから、次期事業内容の見直しを行いました。さらに、保護増殖委員が高齢のため委員継続を辞退されたことから、委員会を解散し、29年度からは随時専門家の指導助言を受けて、環境整備作業を継続してまいります。

#### 施策の評価

町内に、埼玉県指定天然記念物があり、その保護増殖活動を続けているということは、大変誇りに思えることです。環境が整わないと自生が厳しい植物でありながらも、モウセンゴケの確認株数が大変増加していることは、環境維持のため努力されているということだと理解できます。ただ、保護に経費も必要なことを理解してもらう上で、この2つの食虫植物について町民に広報していくことも大切ではないかと感じました。

## 歴史に親しみ、文化を育むまちづくり

### 施策 1 歴史資源の活用・継承

#### ○ 寄居町教育行政重点施策における位置付け

##### 「5. 生涯を通じた多様な学習活動とスポーツの推進」

#### 施策 1-1 歴史と文化を活かしたまちづくり

- ・ 埋蔵文化財については、各種の開発行為等の事前に試掘等確認調査を30箇所で行い、文化財の保護と開発行為等との円滑な調整に努めました。
- ・ 開発行為等に際して試掘等確認調査により9箇所で見出し、発見された遺構等の現状保存が不可能と判断した中山、中平、東伴場地遺跡、寄居<sup>はいじ</sup>廃寺で発掘調査を実施しました。
- ・ 発掘調査が完了した遺跡の記録を後世に遺し、成果を活用していくため、出土品の整理作業等を経て発掘調査報告書を刊行しました。28年度は、平成26年度に発掘調査、平成27年度に墳丘測量調査を実施した赤浜宮前遺跡の報告書を刊行しました。

#### 施策 1-2 史跡鉢形城跡保存整備

- ・ 鉢形城歴史館・寄居町埋蔵文化財センターでは、展示活動として、常設展示「出土品から見た寄居の歴史」のほか、28年春季企画展示は大河ドラマ「真田丸」にちなんで、「上州合戦―北条と真田―」を開催し、入館者は開館特別展に次ぐ5,443人（3月19日からの入館数）を数え、好評を博しました。

28年秋季企画展は、「関東の武具―関東五枚胴具足―」と題して開催しました。これは、館に寄託されている秩父孫次郎重国所用の「関東五枚胴具足」と同じ系譜の具足が発見されたことから企画したもので、<sup>くにしゅう</sup>国衆と呼ばれる在地土豪衆が着用していたもので、歴史資料的な価値が高いものです。

29年春季企画展は、28年10月に本町と八王子・小田原両市が姉妹都市盟約を締結したことを記念し、「後北条氏の庭園―出土遺物を中心に―」を開催し、小田原城御用米曲輪や八王子御主殿跡から出土した陶磁器類等を展示し、後北条氏の庭園文化の一端を窺い知ることができました。



鉢形城歴史館展示活動実績（人数は無料入館者数を含む）

上州合戦ー北条と真田ー	28年4月1日～5月8日（33日間）	
	入館者数	4, 147人
出土品から見た寄居の歴史	28年5月18日～9月28日（113日間）	
	入館者数	6, 671人
関東の武具ー関東五枚胴具足ー	28年10月8日～11月27日（42日間）	
	入館者数	3, 518人
出土品から見た寄居の歴史	28年12月2日～29年3月12日（80日間）	
	入館者数	3, 881人
後北条氏の庭園ー出土遺物を中心にー	29年3月18日～29年3月31日（12日間）	
	入館者数	987人

また、一層の集客のため、若葉の会やお月見の会、歴史講演会、体験教室などのイベントを開催しました。

これらのことにより、28年度の入館者数は20, 189人で、昨年度より2, 584人の増となり、開館以来の累計入館者は、188, 214人となりました。

なお、28年度入館者数は開館以来最も多かった27年度の記録を更新しました。

- ・ 鉢形城公園の環境管理のため、除草作業・不要木の伐採等を実施しました。さらに、県道坂本寄居線和泉橋の改良工事に伴い、公園内に仮設園路を設置したことにより、来訪者に対する良好な散策環境の提供ができました。
- ・ 鉢形城跡保存整備事業推進のため、史跡鉢形城跡保存整備委員会の会議を2回開催し、29年度からの発掘調査計画を検討しました。

## 施策の評価

古くから人が住んでいた寄居町には、数多くの遺跡があります。発掘調査後、その記録を報告書として、町内のみならず県内各市町村に広めていただいていることは大変結構なことです。

鉢形城歴史館の入場者数が開館以来の最高記録となったことは、うれしいことです。大河ドラマ「真田丸」との関連展示を行ったり、新たに発見された「関東五枚胴具足」など、タイムリーな特別企画の成果だとも言えます。今後も、来場者の視点に立った興味ある企画を行っていただくことで、一層歴史館の魅力を発信できると思います。また、園内の良好な散策環境を整えたり、鉢形城跡保存整備事業を推進していくことが、今後の寄居町の観光資源の増加にもつながると思いますのでよろしく願います。

## 施策2 芸術・文化活動の充実

### ○ 寄居町教育行政重点施策における位置付け

#### 「5. 生涯を通じた多様な学習活動とスポーツの推進」

### 施策2-1 芸術・文化活動の推進

- ・ 生涯学習まつりの開催や産業文化祭で文化団体連合会の作品展示を行い、町民の文化・芸術・音楽活動の発表の場を提供しました。
- ・ 平成28年度の文化講演会では、気象予報士でお天気キャスターの森田正光氏を講師に招き、「異常気象と環境問題～どうなる地球温暖化～」と題し、世界の災害と気象の変化の関係などについて講演をしていただきました。

### 施策の評価

生涯学習を進めていくうえで、「学習の成果」が適切に評価されることが、今後の意欲につながります。そのため、生涯学習まつりや産業文化祭を活用し、文化・芸術・音楽活動の発表の場を設けていただいていることは、とても良いことだと思います。また、魅力的な講師を招き文化講演会も実施し、昨年より多くの参加者もあり、参加者評価も良好なことは、関係者の努力の成果と言えると思います。町民に心の充実感を与えていただける芸術・文化の紹介や講演会を、今後も継続してください。

## 子育てが楽しいと実感できるまちづくり

### 施策1 子どもにとって魅力ある居場所づくり

#### ○ 寄居町教育行政重点施策における位置付け

「4. 家庭・地域と連携し絆を深める教育活動の推進」

#### 施策1-1 安全で魅力ある子どもの居場所づくり

- ・ 10回目となった「こどもギネス大会」では、27年度に引き続き参加者が増加し、延べ2,091人の児童が大会を通して体力の向上と仲間づくりに寄与しました。

#### 施策の評価

児童数が減少し、子供どうし体を使って遊ぶ機会が減ってきています。この中で、町内小学生が集団や個人で各種縄跳びを競い合う、「こどもギネス大会」の参加者が増加しているということは、ありがたいことだと思います。競いあうことで体力向上と仲間づくりができることが、この大会の魅力です。この大会は、学校の協力がなくては成立しないもので、今後より多くの参加がある魅力的な大会にしていくために、児童及び学校関係者の要望を積極的に取り入れ工夫していただけたらと思います。

## 子どもたちの自信と生きる力を育むまちづくり

### 施策 1 確かな学力と豊かな人間性を育てる教育

#### ○ 寄居町教育行政重点施策における位置付け

##### 「1. 確かな学力の育成とグローバル化に対応できる英語教育の推進」

#### 施策 1-1 教育内容の充実

- ・ 生きる力をはぐくみ、一人一人の個性を生かす教育活動を展開し、特色ある教育、特色ある学校づくりの推進に努めました。また、学習指導要領の趣旨を踏まえ、各学校では教育課程を工夫し、保護者・地域に信頼される教育活動をすすめています。
- ・ 基礎・基本の徹底や個に応じたきめ細かな指導の充実を図るため、学習指導に関する研究委嘱や指導委員制度の充実を図っています。また、学力向上推進委員会を中心に小・中学校の9年間を見通した教育を推進しています。さらに、小学校2、3年生を対象に算数科を中心に、教員経験者や教員免許を取得している放課後サポーターを講師として、「より・E放課後塾」を実施しています。
- ・ 基礎的・基本的な学力の定着に加え、思考力・判断力・表現力の育成に向けた研修会を実施しました。夏季休業中、小中学校における模擬授業の実施や各学力・学習状況調査を分析した授業展開の研究など、教職員の授業力の向上を図り、各学校において確かな学力の育成に役立ててきました。
- ・ 中学3年生を対象に委託業者を講師として「より・E土曜塾」を実施しました。9月から毎週土曜または日曜日、英語と数学の2教科について1グループ4～5人の少人数指導を行い、事業の目的である生徒が希望する進路を実現することができました。
- ・ 全国学力・学習状況調査の結果については、小学校算数Aの「数と計算」領域の正答率では、平成25年度から毎年上昇傾向にあります。小学校国語Bは、4年間で大幅に平均正答率を伸ばし、平成28年度は全国の正答率を上回りました。中学校国語Bの「書くこと」領域と数学Aの「図形」領域や「証明の必要性和意味及びその方法について理解すること」では、全国や県の正答率を上回りました。
- ・ 中学校に各校1人、小学校には全6校で3人合計6人のALTを配置し、子どもたちが生きた英語に親しめるようにしています。小学校外国語活動をはじめ、中

学校外国語教育、国際理解教育においてALTの効果的な活用法を研究し、それらの充実を図っています。それにより、授業以外の場面でも英語や外国の方に触れ合える機会を増やし、外国語活動はもちろん、国際理解教育の推進に努めました。さらに、中学校の英語に対する意欲と英語力の向上を目指し、年1回、希望する中学2、3年生を対象に無料で英語検定を受験する事業を実施しました。

- ・ 特別支援教育の充実に向けて介助サポーターの配置、臨床心理士による巡回相談の回数の増加、教育相談等、教育の支援体制の充実を図りました。

また、年3回の特別支援学級の合同学習会を実施し、学習の成果を発表し合ったり児童生徒はもちろん、保護者同士の交流を図ったりすることができました。

また、特別支援学級への訪問、特別支援教育研修会の実施、保護者との就学相談等の支援を行い、特別支援教育の推進に努めました。

## ○ 寄居町教育行政重点施策における位置付け

### 「4. 家庭・地域と連携し絆を深める教育活動の推進」

#### 施策1-2 家庭、地域との連携

- ・ 地域人材の活用や体験活動の充実のために各学校に学校応援団が設置されています。主な活動は、登下校の安全パトロール支援、読み聞かせ、生活科や家庭科、総合的な学習の時間などの学習支援、中学3年生対象の勉強会指導助手、校舎内外の環境整備支援、部活動指導助手などです。特に登下校の安全パトロール支援については、昨年度よりもボランティアの方が増え、毎日児童生徒の安全を見守っていただいております。
- ・ 中学校では日頃お世話になっている地域への恩返しとして、地域貢献ボランティア活動が行われています。河原の清掃、道路のゴミ拾いなど自分たちでできるボランティア活動を行っています。

#### 学校応援団の活動（平成29年3月末現在）

	年間活用人数	主な活動の例
小中学校 9校	9, 294人	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 読み聞かせ、ミシンの指導助手、図書整理、勉強会指導助手、部活動指導助手、学校ファームの管理や指導</li> <li>・ 枝おろし、除草作業、ペンキ塗り、小修理、</li> <li>・ 登下校の見守り、校外学習の引率助手、など</li> </ul>

## 施策の評価

学力向上のため、新たに様々な施策を進めていることがわかります。習熟度に差がつき始める小学校2・3年生の算数科に「より・E 放課後塾」を実施したり、中学生への学力補助として「より・E 土曜塾」を行っているのは積極的な取組だと思います。また、金銭的補助により誰もが英語検定を受けられることは、英語学習への意欲付けにつながると感じました。ALT の数を増加したことも評価できます。これらは、いずれも大きな予算が必要となるものですが、施策の効果を見定め、今後より効果的に予算を配置して頂くようお願いします。

また、夏季休業中に教職員研修会として模擬授業を取り入れたことは大変良いと思いました。じっくり話し合うことで授業力の向上に寄与できると思います。

本年、全国学力・学習状況調査で学力の上昇が見られることは、大変喜ばしいことです。これからも積極的に施策を行ってほしいと思います。

また、教育を進めていく上で地域との連携は重要ですが、このために各学校では、学校応援団を設置し、地域からの協力を依頼しています。本年度は学校応援団の活用人数が大変増加しています。応援団として参加することで、地域の人にも学校の取組がわかり、生き生きとした児童生徒の姿が見え、学校への理解が深まります。今後も、地域の協力を呼び込むような働きかけを続けてほしいと思います。

## 施策2 町の自然や歴史を題材にした教育の推進

### ○ 寄居町教育行政重点施策における位置付け

- 「1. 確かな学力の育成とグローバル化に対応できる英語教育の推進」
- 「4. 家庭・地域と連携し絆を深める教育活動の推進」

### 施策2-1 自然と文化・歴史を体験する教育

- ・ 教育委員会で刊行している社会科副読本「よりのい」（27年3月改定版）と作業帳（28年3月改定版）を活用して、小学校3・4年生で寄居町の自然・文化・歴史・産業・くらしについて学習しています。
- ・ 町探検や校外学習では、子どもたちが町内の施設や自然を自分の目で直接見たり身体で感じたりする学習を行いました。役場庁舎や鉢形城歴史館、町内の事業

所への見学が行われました。

### 小・中学校の遠足や社会科見学などの校外学習で訪問した施設等

種 別	主 な 訪 問 先
町施設	寄居町役場 寄居町中央公民館 寄居町立図書館 鉢形城歴史館 象ヶ鼻浄水場 折原浄水場 寄居運動公園 寄居町立学校給食センター
公的施設	埼玉県環境整備センター 埼玉県立川の博物館 寄居城北高校 寄居駅 寄居郵便局 寄居警察署 あきやま苑 かわせみ荘 三ヶ山メガソーラー 深谷市花園消防署寄居分署
事業所	ベイスシア寄居北店 神田ぶどう園 大平農園 ヤオコー寄居店 ボッシュ寄居工場 シバサキ製作所 本田技研工業寄居工場 埼玉プレシア
その他	鉢形城公園 玉淀河原 折原仙元水 中間平緑地公園 かわせみ河原 風布みかん園 日本の里

## 施策の評価

小学生の社会科副読本「よりの」を刊行していますが、これにより町の自然や歴史を知ることができ、町を知る貴重な資料となっています。事実を伝えると同時に興味ある内容とするために、常に改善を加えていくようお願いします。また、町探検や校外学習により実際に訪問することで、小学生は町を知り愛着も湧いてくるものと考えます。今後も訪問しやすいよう、町のバスの利用ができる環境を作って頂くことや、訪問できる施設の開拓とその周知を図って頂きたいと思います。さらに、町の偉人を取り入れた道徳の教材などもできたら、素晴らしいことだと感じます。

## 施策3 健全な心身を育てる教育

### ○ 寄居町教育行政重点施策における位置付け

#### 「2. 豊かな心と健やかな体の育成」

### 施策3-1 心やさしい人づくり

- ・ 人権教育研究委嘱や人権教育研修会を開催して人権意識の高揚、指導の充実を図りました。鉢形小学校では、27・28年度「夢いっぱい 笑顔いっぱい」とも

に伸びる鉢小っ子の育成～豊かな人間関係づくりを目指した教育活動の充実～」を研究主題として人権教育に取り組みました。

心を耕し、仲間と伸びようとする児童をはぐくむため、アクティブ・ラーニング※1 やユニバーサルデザイン※2 の手法を取り入れ、人権を大切にした授業を実践してきました。さらには、アサーショントレーニング※3、ソーシャルスキルトレーニング※4、人権感覚育成プログラム※5 を各学年で計画的に実施することで、自他の立場を大切にして行動できる児童の育成につながりました。

また、教職員の人権感覚を高めるための研修会として人権教育講演会を実施しました。

各学校では講師を招聘して「差別の実態に学ぶ」研修を実施しました。さらに、児童生徒の人権意識の高揚を図るために、人権旬間や日頃の取組の充実を図るとともに、あいさつ運動の実践などを行いました。

- ・ 学習指導要領で重視された道徳教育については、学校の教育活動全体を通じて行うとともに、各学校で道徳授業の保護者への公開や授業研究会を積極的に行い指導内容と指導方法について研究・充実させながら道徳的実践力の育成に努めました。

※1 主体的・対話的で深い学びを実現する学習指導

※2 人間の差異を問わずに誰もが利用し易いものや環境

※3 自分と相手を大切にする自己実現を身に付けるための訓練

※4 正しく人間関係、社会技能を身に付けるための訓練

※5 県教育委員会が刊行した、児童生徒の豊かな人権感覚を育成するためのプログラム集

## ○ 寄居町教育行政重点施策における位置付け

### 「2. 豊かな心と健やかな体の育成」

#### 施策3-2 健やかな体づくり

- ・ 各学校で体力向上に意欲的に取り組み、新体力テストの結果では、20年度から9年連続で小・中学校ともに埼玉県トップレベルを維持しています。体力向上推進委員会で3つの部会（授業研究部・体力向上部・健康教育部）を組織し、小・中学校とも、体力向上に学校と家庭で連携して取り組み、体育の授業や体育経営の充実を図り、学校生活全体で確かな技能習得・体力向上・健康増進を図りました。また、中学校では、体育の授業とともに運動部活動に熱心に取り組み、生徒の体力向上に努めました。



- ・ 栄養教諭による食育授業を指導計画に位置づけ、食に関する正しい知識や食の大切さ等、食に関することへの意識の高揚を図ることができました。
- ・ 体力向上の取組と並行して、「早寝・早起き・朝ご飯」や「運動・睡眠・食事の充実」さらに「食育」の取組も継続して行っています。

## ○ 寄居町教育行政重点施策における位置付け

### 「3. 教職員の資質向上と教育環境の充実」

#### 施策3-3 相談・指導体制の充実

- ・ 生徒指導に関する学校訪問や、さわやか相談員、スクールカウンセラーやスクールソーシャルワーカー等の効果的な活用により、生徒指導や教育相談の充実を図ってきました。各学校では、毎年いじめ防止基本方針を見直し、いじめや問題行動の未然防止、早期発見、早期対応等に取り組み、大変落ち着いた学校生活を送ることができました。
- ・ 教育サポートセンターでは、2人の相談員により、学校訪問や保育所（園）及び幼稚園訪問、家庭訪問、保護者からの電話や面談等による教育相談を行いました。学校や適応指導教室、関係機関と連携して不登校傾向の児童生徒へのよりよい支援に向けて取り組んできました。
- ・ 適応指導教室（かわせみ教室）では、指導員と補助員が不登校児童生徒に対して学校復帰や自立に向けた支援を行っています。28年度に通級していた中3の生徒は高等学校に進学し、中1の生徒1人、中2の生徒3人は4月より学校に復帰できました。

#### 施策の評価

差別やいじめは、意図的な指導がないと、子どもの心に芽生えてきてしまう問題でもあります。心やさしい人づくりのために、人権教育を続けていくことは重要だと思います。研究委嘱や研修会を積極的に行い人権意識の高揚が図られていることは評価できます。これからも、より子どもの実態にあった指導を工夫して行ってほしいと感じます。相談・指導体制については、各学校で常に見直す体制をとり、学校を支える機関として教育サポートセンターや適応指導教室を配置して頂いています。常にこれらが連携しあうことが重要なことと考えますので、その指導を続けて頂きたいと思います。

新体カテストでは9年連続で、埼玉県トップクラスという輝かしい記録を続けて

います。この成果の陰には、体力向上推進委員会の活動の成果が大きいと考えます。今後も委員会と学校の間を連携させて、体力向上を行ってほしいと考えます。

健全な心身の育成には、必要なものをきちんと食べる食育は重要です。発達段階に応じた内容・方法で、栄養教諭を中心に指導を継続してほしいと思います。

## 施策4 学校教育環境の充実

### ○ 寄居町教育行政重点施策における位置付け

#### 「3. 教職員の資質向上と教育環境の充実」

### 施策4-1 安全・安心な教育環境づくり

- ・ 児童生徒健康対策では、全学年を対象とした健康診断・歯科検診・眼科検診・尿検査のほか、特定学年に実施する心臓検査・寄生虫検査・耳鼻咽喉科検診を実施し、児童生徒の健康確保に努めました。
- ・ 東日本大震災に伴う放射能災害については、校庭等における空間放射線量測定結果が基準値以内で安定していることから、引き続き3か月に1回として、小・中学校で行いました。結果は学校を通して各保護者へ、町民については寄居町ホームページに掲載し情報提供に努めました。同じくプール水についても、町内小中学校全ての検査を行い基準値以内であることを確認し、結果については空間放射線量と同じ手法で情報提供に努めました。

学校施設整備事業につきましては、近年の猛暑に対応し、学校教育環境の向上を図るため、国の交付金を活用し、空調設備設置工事を実施しました。また、児童がみどりにふれあう環境を整備するため、県の補助金を活用し、校庭芝生化工事を実施しました。

以上の事業のほか、施設の長寿命化や良好な施設環境づくりのため、下記の事業を実施いたしました。

(単位:千円)

事業名	事業内容	事業費
町立小学校空調設備設置工事	学校施設の学習環境改善のため 室内機設置 202台 室外機設置 61台 機械・電気設備工事	402,548
寄居小学校プール改修工事	学校体育施設の長寿命化のため 塗装工 A=596.0m <sup>2</sup>	5,573
寄居小学校外消防器具更新工事	学校施設の防災対策のため 【寄居小学校】 火災受信機交換工 1台 火災感知器交換工 86個 【用土小学校】 消火栓ホース交換工 14本	950
桜沢小学校プール改修工事	学校体育施設の長寿命化のため 塗装工 A=506.0m <sup>2</sup>	4,957
鉢形小学校遊具更新工事	学校施設の安全管理のため 山型雲梯更新工 1基 平行棒更新工 1基	1,763
折原小学校体育館屋根改修工事	学校体育施設の長寿命化のため 屋根防水工 A=935.0m <sup>2</sup> 天井塗装工 A=1148.0m <sup>2</sup>	29,446
折原小学校グラウンド整地工事	学校施設の安全管理のため 整地工 A=4000.0m <sup>2</sup> コースロープ設置工 1式	1,512
男衾小学校校庭芝生化工事	学校施設の環境改善のため 張芝工 A=1151.0m <sup>2</sup> 水道施設工 1式	5,206

中学校においては、階段タイル修繕工事を実施し、環境改善を図ったほか、理科室実験台を新たに設置し、学習環境の改善に努めました。

その他良好な施設の維持管理のため、下記の事業を実施いたしました。

(単位：千円)

事業名	事業内容	事業費
城南中学校アプローチ階段 タイル修繕工事	学校施設の環境改善のため タイル補修工 A = 48.4 m <sup>2</sup>	1,080
城南中学校プール屋根軒 樋修理工事	学校体育施設の維持管理のため 軒樋撤去設置工 L = 82.0 m	724
男衾中学校プールろ過ポ ンプ配管修繕工事	学校体育施設の維持管理のため ポンプ配管修繕工 1箇所	734
男衾中学校理科室実験台 設置工事	学校施設の学習環境改善のため 教師用実験台据付工 1台 生徒用実験台据付工 5台 給排水ガス設備工事 1式	637

- ・ 児童生徒の適正な栄養素の摂取による健康の保持増進などを図るため、小・中学校に、それぞれ年間186回（1日約2,600食）の給食を実施しました。また、安全で安心な給食を提供するため、次表の事業を実施しました。

実施日	事業内容	対象
4月11日	給食衛生講習会 ・ノロウイルスについて	給食従事者32人
7月29日	安全運転講習会 ・講習会及び運転実習	配送員等 6人
8月29日	給食衛生講習会 ・ハエ対策 ・包丁、まな板の衛生管理 ・食中毒発生状況及び対策・嘔吐物の正しい処理・野菜の衛生管理	給食従事者27人
1月6日	健康状態確認	給食従事者及び職員各々36人
2月3日	健康状態確認 ・ノロウイルス検査	

- ・ 給食で使用する食材については、徹底した衛生管理のもと提供しておりますが、給食の安全性を確認するため、給食1食分ごとの放射性物質検査を専門検査機関に委託し、年間22回実施しました。

また、個別の食材についても、引き続き、埼玉県が熊谷市（江南行政センター）に配備する放射能測定装置を活用し、職員が検査しました。その検査結果は、町のホームページや毎月の給食献立予定表に掲載し、給食に対する保護者等の不安

解消に努めました。

- ・ 地産地消については、前年度に引き続き積極的に地元産の安全で安心な食材を使用しました。

#### 地元産割合（野菜類）

区 分	寄居産割合（％）	県内産割合（％）
28年度	53	61
27年度	45	60

- ・ 食育の推進については、栄養教諭が児童生徒、保護者及び地域に向け、「食」に関する指導を行い、健全な食生活を実践する大切さを伝えることができました。
- ・ 給食の残菜については、民間業者に委託し堆肥化のリサイクルに努めました。

給食の残菜を堆肥化した量は、以下のとおりとなりました。

区 分	年 間 量（t）	1回平均量（kg）
28年度	23.9	125
27年度	23.1	121

- ・ 給食における食物アレルギーについては、引き続き、全ての児童生徒の保護者に、食物アレルギー献立表を毎月配布し、注意喚起に努めました。

また、食物アレルギーをもつ児童の保護者には、栄養教諭による個別相談・指導を行いました。

- ・ 多子世帯の経済的負担の軽減によって子育てを応援することを目的に、学校給食費の補助を行いました。対象は3人以上の子供を扶養している保護者とし、第3子以降の児童生徒の給食費を補助しました。

#### 補助人数・補助額

（単位：人、千円）

区 分	人 数	補助金額
小学校	167	7,269
中学校	51	2,778
合 計	218	10,047

- ・ 給食センター施設維持管理事業として、下表の事業を実施しました。

#### 主な修繕事業

(単位：千円)

事業名	調理場	屋外設備
真空冷却機減圧弁及びスチームトラップ交換修繕	221	—
コンテナガード交換修繕	284	—
真空冷却機減圧弁及びストレーナー交換修繕	162	—
洗浄機圧力扇及び電磁弁交換修繕	444	—
プレハブ冷凍庫修繕	221	—
チルド室室外機修繕	—	686
牛乳保冷库ドレンパン交換修繕	—	134
コンテナ乾燥機制御盤不具合修繕	238	—
真空冷却機修繕	1,332	—
コンテナ乾燥機セルフィルター交換修繕	—	801
施設設備交換修繕	—	808
合計	2,902	2,429

#### 施策4-2 学び環境の充実

- ・ 町民で修学の意欲を有しながら、経済的な理由により高等学校等への修学が困難な方に修学資金の支給を行う寄居町修学資金制度については、平成28年度の利用者は55人で総額318万円の補助を行い修学支援要請に応えました。
- ・ 風布地区の児童（4人）が寄居小学校に通学するにあたり、タクシー借上げによる通学支援を実施しました。年間で延べ197日、197便を運行し、通学の負担軽減と安全確保に努めました。
- ・ 就園、就学の支援では、経済的に就園、就学の援助を必要とする私立幼稚園及び小・中学校児童生徒の保護者に対し、その趣旨を周知し、奨励費、援助費の支給を行い、円滑な就園・就学ができるよう取り組みました。

また、前年度に引き続き、東日本大震災により避難中の児童生徒に対して、就学援助を行いました。

(単位：千円)

区 分	人 数	支給額
私立幼稚園就園奨励費	163	20,226
要保護及び準要保護児童援助費	162	9,606
要保護及び準要保護生徒援助費	97	9,577
小学校特別支援教育就学奨励費	15	432
中学校特別支援教育就学奨励費	10	458
遠距離通学生徒援助費	7	21
被災児童就学援助費※1	1	78
被災生徒就学援助費※1	1	80
被災生徒特別支援教育就学奨励費※2	1	38

※1 人数及び支給額は、要保護及び準要保護児童生徒援助費の人数及び支給額の内数。

※2 人数及び支給額は、小学校特別支援教育就学奨励費の人数及び支給額の内数。

- ・ 学校事故の防止では、安全点検日の設定や避難訓練の実施、特別教室における教具の安全管理等の指導助言を通し、事故防止の徹底に努めました。登校時・下校時の交通安全指導の実施や交通安全教室の実施等、スクールガードリーダーを配置し交通事故防止に努めました。また、小学校では「自転車交通安全教室」を、中学校では「交通指導員による交通安全教室」を開催し、交通安全意識を醸成することができました。

不審者対策についても、警察署と連携したり、各学校における対応について指導助言したりするとともに、町内の転入生及び新入学児童全員に防犯ブザーを配布する取組を行いました。

また、生命を尊重し、自他とともに健康で安全な生活を営むことのできる心豊かな児童生徒の育成を目指し、全教育活動における実践に対する指導助言を行いました。

- ・ 学校図書の整備では、国で示す標準冊数を参考に、計画的に図書の購入、廃棄を行い、適切な整備に努めました。

### 施策4-3 学校運営体制の改善

- ・ 校長会や教頭会を定期的で開催し、寄居町の施策や教育委員会の方針の説明、新しい教育情報の提供に努めました。また、学校評議員を委嘱し各学校で学校評

議員会を複数回開催して地域の意見を学校経営の参考にしました。さらに、学校の自己評価・外部評価を実施し、保護者等の意見も学校経営の改善に役立てるようしました。

- ・ 学校行事へは保護者や地域の方に大勢参加していただけるよう学校便りやホームページを通じて呼びかけをしたり、11月の彩の国教育週間にあわせて、学校公開日を設定し学習発表会などを行ったりするなど、開かれた学校づくりに積極的に取り組みました。

### 施策の評価

大きな予算が伴う工事として、小学校空調設備設置工事を行って頂きました。近年の夏の暑さは異常であり、熱中症も多く発生しています。工事により、中学生に続き小学生も安全・快適な教室で学習することができ、とても良かったと感じます。

また、安全・安心な給食のために、講習会や検査を積極的に行って頂いています。最近によく食中毒の報道がされますが、引き続いて細心の注意をお願いします。給食の野菜に地元産を増やしていることも評価できます。

子育てを応援するために、新たに第3子以降の給食費を補助する施策を行ったことはすばらしいことと感じました。子育てを応援する意味で給食費の補助を行っている市町村は、県内で10、大里の中では初めてということです。少子化対策という意味でも先進的な取組と思います。

経済的な理由で修学が困難な家庭、就園・就学に援助が必要な家庭へは、今後もできるだけ補助をお願いします。

悲惨な交通事故、変質者からの被害などがまだ時々発生しています。引き続き児童生徒への指導とその見守り活動についての取組を行ってほしいと考えます。

教育委員会や学校での取組について、積極的に公表・公開していることは評価できます。ホームページの更新等は大変ですが、開かれた学校づくりをすることは、地域の教育力を呼び込むきっかけになると思います。今後も積極的な公表・公開をお願いします。



## 生き生きと学び、活動できるまちづくり

### 施策 1 生涯学習活動の充実

#### ○ 寄居町教育行政重点施策における位置付け

##### 「5. 生涯を通じた多様な学習活動とスポーツの推進」

#### 施策 1-1 ニーズにあった多様な学習機会の創出

- 中央公民館では利用者のニーズに応えるため、新たに12種類の教室・講座を組み、全体で24種類、127回の教室・講座を開催しました。燻製教室やネイル教室を開催するなど、新たに幅広い年齢層に学習の機会を創出する取り組みを行いました。また、地域公民館においても、87の講座と67の催事が開催され、地域のコミュニティーづくりに貢献しました。

#### 中央公民館

種 別	講座・教室数	受講者数（人）
I T	6	266
よりの生活学	1	182
音 楽	2	252
外 国 語	1	267
料 理	3	151
芸術・文化	7	427
子育て支援	2	128
健康増進	2	147
合 計	24	1,820

## 地域公民館

地域公民館名	講座数	催事数	参加者数（人）
市街地公民館	6	9	1,806
西部公民館	12	15	10,310
桜沢公民館	14	11	3,683
折原公民館	12	9	3,085
鉢形公民館	13	10	4,801
男衾公民館	18	7	18,188
用土公民館	12	6	4,694
合計	87	67	46,567

### 施策1-2 参加しやすい生涯学習活動

- ・ 自主的な社会教育活動を行う社会教育関係団体は、28年度163団体となり、各団体が自主的に活動できる体制を整えられるよう、指導を継続しました。
- ・ 中央公民館では、他の社会教育施設と同様に多くの方々に気軽にご利用していただき、生涯学習活動の拠点として各講座・教室、合同開講式、生涯学習まつり、よりの絵画展など多くの事業を実施しました。
- ・ 中央公民館の年間利用者は、71,902人あり、生涯学習まつりでは、作品展示43団体・ステージ発表64グループの参加を得るなど、町民の生涯学習の充実・振興に寄与しました。

### 施策の評価

中央公民館と地域公民館の利用者の合計は11万人を超える数となっていて、公民館が生涯学習の拠点となっていることを実証づけています。この中で中央公民館では、新たな教室・講座を12加えています。利用者のニーズは多様化していますので、そのことを踏まえた積極的な取組はとても良いと思います。今後も気軽に利用できる環境を整えて頂くと同時に、町民のニーズを把握して教室や講座を開設してください。生涯学習祭りは、学習の評価及び発表の場として重要な機会ですので、今後も工夫して継続してください。

また、地域公民館ごとの参加者に大きな差があることを知りました。どの地域公民館も積極的な活動をして参加者を増やす工夫ができるよう、支援体制がとれたらと考えます。

## 施策2 生涯学習施設づくり

### ○ 寄居町教育行政重点施策における位置付け

#### 「5. 生涯を通じた多様な学習活動とスポーツの推進」

### 施策2-1 生涯学習施設の充実

- ・ 生涯学習の拠点施設である中央公民館では、備品の整備やホールで使用する音楽ミキサー、エレベーター設備及び会議室のブラインドの交換修繕等を行い、安全で快適な環境の保持に努めました。
- ・ 地域公民館については、利用者に快適な施設として提供することや高齢者の利用にも配慮し、西部コミュニティセンターの外階段の修繕や鉢形コミュニティセンターのトイレを和式から洋式に改修を行ったほか、緊急を要する修繕を実施し、利便性の向上を図りました。

### 施策2-2 図書館の充実

- ・ 図書館では、教養、調査・研究やレクリエーションへの多様化、高度化する町民ニーズに対応するため、図書館サービスの根幹を成す資料について、質・量の充実をめざして書籍類を中心に収集を行い、蔵書群の構築に努めました。  
また、利用者が増加しているDVDなどの視聴覚資料も合わせて、積極的に収集しました。
- ・ 子どもの読書推進につきましては、移動図書館の定期運行や小学生の図書館見学の受け入れを行うとともに、小学校5・6年生を対象に「一日こども司書体験」を継続し、体験した子どもやその保護者には図書館の魅力を伝えることができました。  
また、平成19年度に開始している読書通鳥事業で、希望者への配布に加え、7月より新たに町内小・中学生全員への配布を実施し、年間児童・生徒1人当たり平均貸出冊数で、小学1～3年生で3.8冊、小学4～6年生で0.4冊の増加が認められました。中学生では認められませんでした。
- ・ 中学生・高校生については、職場体験やインターンシップ事業を積極的に受け入れ、青少年層による図書館の利用や理解が進むよう努めました。
- ・ 宮沢賢治寄居町来町100周年記念の読書講演会をはじめとした、例年行っている主催事業及び図書館の利用団体との共催事業を引き続き実施しました。

このような事業実施を通じて単に貸出しだけではない、図書館の利用機会の提供と拡充が図られました。

### 図書館の利用状況

入館者数	97,471人（1日平均336人）
年度末登録者	27,568人 （内訳 町民：21,138人 町民以外：6,430人 町民登録率61.7%）
貸出人数	56,284人
貸出点数	259,251点
受入点数 （雑誌を除く）	5,852点 （内訳・購入分：4,774点、寄贈分：1,078点）
年度末蔵書点数 （雑誌を除く）	174,970点 （町民1人当たりの蔵書点数：5.1点）

### 施策の評価

町内の生涯学習施設も老朽化が進んでいるところが増えています。この状況でも、安全・安心な施設として運営することは必須条件です。中央公民館でも地域公民館でも改善を図って頂いていますが、今後も予算の限られている中、優先順位をつけ順次改善を図っていくようお願いします。

読書をすることのメリットについては、様々な方が述べられています。大人には生涯学習の面から重要なものであり、子どもでは文部科学省の報告書によると、「親の年収や学歴が低くても学力が高い児童の特徴は、家庭で読書や読み聞かせの習慣があること」と利点が指摘されています。誰にも、読書の機会を提供できる図書館の充実は重要です。蔵書を増やしたり、ニーズの高いDVDも収集したり、児童生徒向けの司書体験や読書通鳥事業などの工夫が見られ良いと思います。子どもの読書習慣を身につけるには、大人や先生の関わりも重要ですので、今後も、学校・読み聞かせの団体・家庭の保護者等の意見を取り入れていくようお願いします。

## 施策3 スポーツを楽しめる環境づくり

### ○ 寄居町教育行政重点施策における位置付け

#### 「5. 生涯を通じた多様な学習活動とスポーツの推進」

### 施策3-1 生涯スポーツの推進

- ・ 町民がライフステージに応じた様々なスポーツを楽しめるよう、各施設の維持管理に努めるほか、地域住民スポーツの普及と子どもの安全な遊び場確保のために町内全小中学校の施設開放も継続して実施しました。28年度には85団体が学校開放登録団体となり、延べ3,607団体、69,626人が運動場、体育館及び武道場などを有効に活用しました。
- ・ 誰もが手軽に楽しむことができる生涯スポーツとして、カローリングの体験教室（2回）や親善大会を開催しました。  
また、スポーツ推進委員による普及も引き続き実施しました。
- ・ スポーツ少年団の育成では、各種大会を開催し、他のスポーツ少年団との交流を通じて指導員及び団員の結束と育成を図ったほか、スポーツ少年団認定員養成講習会を開催し、認定指導員資格者の育成も図りました。
- ・ オリンピック出場をはじめ、全国大会出場選手等の激励及び紹介と広く町民へのスポーツ参加意欲の高揚を図るため、庁舎に12本の懸垂幕と1本の横断幕を掲出するとともに、寄居町初のオリンピック応援のパブリックビューイングを開催しました。
- ・ 町民の体力向上と健康増進を図るため、町民健康増進ウィークを設け、プールの無料開放を7月16日から8月7日までの23日間に渡り実施し、延べ5,534人の利用者がありました。
- ・ 体育協会をはじめスポーツ競技団体と連携し、33事業を展開しました。駅伝競走大会には、145チームが参加し、27年度に次ぐ盛況な大会となりました。

## 施策の評価

町民の体力向上と健康維持にはスポーツが重要であり、様々なスポーツを楽しめる環境づくりは欠かせません。町スポーツ施設の他に、小中学校の施設開放も積極的に行っていくことは大切だと思います。カローリングの体験教室を行って

いますが、今後も高齢になっても楽しめる競技の普及をお願いします。町民誰もが、プールを無料利用できる期間の設定は、特に子育て世代にとってありがたい企画だろうと感じます。本町初のオリンピックが生まれたり、スポーツで顕著な活躍をしている選手がいることは、町民にとっても誇りであり、次に続く選手への目標にもなっていくことから、選手をたたえる企画を行ったり懸垂幕の掲出を続けることも大切と思います。歴史ある駅伝競走大会は、より多くの方が参加できるよう今後も工夫を加えて頂くようお願いしたいと思います。

## 多彩な地域活動が育ち、人々が交流するまちづくり

### 施策 1 活発な交流の推進

#### ○ 寄居町教育行政重点施策における位置付け

「1. 確かな学力の育成とグローバル化に対応できる英語教育の推進」

#### 施策 1-1 都市間・国際交流の推進

- ・ 中学生海外相互交流事業では、アメリカ合衆国オハイオ州メアリスビル市へ引率者3名を含む21名を派遣し、施設見学や学校体験及びホームステイなどを通じて、お互いの文化や教育に対する理解を深めることができました。

第55回寄居北條まつりでは、武者隊に11人の外国人を中心とする国際隊を結集させ、地域の人との交流の機会を提供しました。

また、外国人に講師をお願いし、英会話教室を開催し、町民が異文化を学び、交流する機会を設けました。

#### 施策の評価

これからの時代は、国際化の流れが広がっていくことは確かであり、その中で次代を担う子どもたちに英語能力を向上させたり、異文化を理解・尊重する態度を育てることは重要です。中学生海外派遣事業でアメリカを訪れた生徒は、異なった文化や教育への視野が大きく広がっただろうと感じます。また、海外留学生を寄居北條祭りに参加してもらったり、外国人に英会話教室の講師になってもらうことも良いことだと思います。重点施策に、「グローバル化に対応できる英語教育の推進」を掲げているわけであり、今後も積極的に事業展開をして頂きたいと思います。

## 施策2 青少年の健全育成支援

### ○ 寄居町教育行政重点施策における位置付け

#### 「4. 家庭・地域と連携し絆を深める教育活動の推進」

### 施策2-1 地域ぐるみの育成支援

- ・ 家庭教育学級やすこやか子育て講座に多くの保護者に参加してもらうため、町内小学校やPTAと連携するとともに、埼玉県家庭教育アドバイザー等の情報提供を行うなどの支援を行った結果、参加者は延べ861人となりました。
- ・ 青少年の非行を未然に防止するため青少年健全育成協議会（3中学校区）とともに、非行防止街頭キャンペーンを寄居・桜沢・鉢形・男衾・用土駅等で実施したほか、宇都宮少年鑑別所を視察し、青少年の非行・被害防止の意識高揚に努めました。
- ・ 町内3中学校区の健全育成協議会に助成等を行い、学校や家庭、地域などが連携を密にすることにより、子どもたちの健全育成につなげる一助としました。

### 施策の評価

児童生徒の健全育成には、学校だけでなく家庭、地域、関係機関が連携することがきわめて大切です。そして、子どもたちを様々な角度から見守っていく必要があります。このために、家庭教育学級等で家庭の教育力を高めたり、健全育成協議会で連携を保っていく方策は良いと思います。ネットを使った事件等の増加のように、子どもを取り巻く環境は変化してきています。見守るという変わらぬ温かい心を常に持ちつつ、時代に対応した指導を継続して頂くようお願いします。



## IV 結びに

### 教育委員会の事務に関する識者の意見

#### 1 はじめに

教育委員会では「真の学ぶ力を身につけた 未来を拓く人づくり」の実現を目指して、計画的に様々な事業を展開して、大きな成果を上げていることは高く評価できます。私はこの点検評価作業を通して、町の教育が多くの町民の皆様に支えられ、充実した展開がされていることがわかりました。また、施設の老朽化などの問題点も知ることができました。その中から、学校教育と生涯学習について、私が特に感じたことを以下に記述致します。

#### 2 学校教育について

まず、確かな学力の育成のために、いくつもの新規事業を立ち上げ努力をしている様子がわかりました。「より・E 放課後塾」、「より・E 土曜塾」、無料で英語検定を受けられる事業などを新たに行っています。学力・学習状況調査の結果が向上してきていますが、これらの事業を継続していくことで、子どもたちの基礎学力向上や意欲付けにつながっていくと思います。さらに、教職員の模擬授業を取り入れた研修会の工夫なども、授業の改善及び学力向上にもつながると思います。

次に、健全な心身を育てるために、工夫した事業を展開していることがわかりました。人権意識の高揚のための委嘱や研修会、体力向上を目指すために推進委員会の設置や研究委嘱・食育授業、積極的な生徒指導のための指導・相談体制の充実など、続けることで徐々に成果が出てくる事業を、きちんと継続して頂いています。これらの事業をより良く継続して行くには、成果を見極め改善していくことが大切だと思います。

次に、学校教育環境充実のために尽力していることがわかりました。中学校に続き全小学校にも空調設備設置を行ったこと、老朽化が進む学校施設も安全面から順次改善を図っていること、給食の衛生管理を徹底していること、近隣市町村に先駆けて多子世帯の給食費を補助して子育て支援を行っていること、経済的面での就学支援体制をしっかりと継続していることなど、限られた予算をよく活用して頂いていると感じました。

「未来を拓く人づくり」のために、学校教育の充実は欠かせません。今後は、主

体的な態度や、地域へ愛着と誇りを持つ態度なども一層育成して頂きたいと願っています。どうか学校現場の意見を十分くみ上げ、長期的視野に立ち、広い目を持って今後の事業を進めて頂くようお願い致します。

### 3 生涯学習について

まず、鉢形城跡や鉢形城歴史館、埋蔵文化財など、ここならではの歴史施設等を有効に利用されていることがわかりました。古の文化の上に現在があり、誇るべき歴史施設を持つことは幸せなことです。世の中で話題になったことに照準を合わせるなど、タイムリーな企画も良いと思います。町民だけでなく町外からの来町者へのおもてなしも工夫されています。自然環境もすばらしい地ですので、他の関連課との連携が必要となりますが、希少植物、荒川、山々の自然も是非有効利用して頂けたらと思います。

次に、様々な生涯学習の機会を作り、その発表の場を工夫されていることがわかりました。高齢者が増加している現在、生涯学習の必要性は年々増加してきています。参加者のニーズをとらえ新たな教室・講座の開催、スポーツでも高齢者にも参加しやすい事業を実施して頂いていますが、ともするとマンネリ化しやすいものですので、常に改善を続けて頂くようお願い致します。

次に、家庭・地域の教育力を高めるための施策をよく行っていることがわかりました。図書の貸出数の増加のための工夫、スポーツ少年団の育成、家庭教育学級の実施等を継続して頂いています。地道な仕事ではありますが、重要なこれらの事業を工夫して継続していくよう望みます。

生涯学習は対象年齢も内容も幅が広いもので、なかなか施策も的が絞りにくいこととはあると思います。しかし、世の中の変化への対応や、町民に心の豊かさや生きがいを持たせる上で、一層重要になってきています。現在の学校教育対象者もやがては生涯学習対象者です。子どもたちに対し、良いお手本となれる町民を増やせるような生涯学習を進めて頂くようお願い致します。

## 教育委員会から

平成29年度教育委員会の事務に関する点検・評価（対象年度：平成28年度）に当たっては、鳥塚富弥氏（元埼玉県立総合教育センター副所長、元寄居小学校長）にご意見をいただきました。御協力に対し、心から感謝申し上げます。

今回の評価は、「第5次寄居町総合振興計画基本構想」における施策に沿って行われた平成28年度事業が、教育委員会が掲げる基本理念「真の学ぶ力を身につけた 未来を拓く人づくり」に反映され、成果をあげられたかという視点から丁寧に見ていただきました。その中で、新たな事業への取り組みを評価していただくとともに、成果を見極め改善しながら継続することの大切さについてご意見をいただいています。その他にも多くの意見を頂戴しました。教育委員会として、今後の教育施策を推進する中で、いただいた意見が反映できるよう努めてまいります。

平成29年度 教育委員会の事務に関する点検・評価報告書

作成：寄居町教育委員会

電話048-581-2121（代表）